

事業所理念	子ども達が将来的に自立し社会に参加できるよう、一人ひとりに応じた成長・発達を支援し、「自律し、共に生きる力」を育みます。	
支援方針	一人ひとりのお子さんの特性を理解し、お子さんの困っていることに気づき、安心できる環境を提供する中で、お子さんの「わかる」「できる」が増えるよう、ご家庭や関係機関と連携をとりながら支援を行います。	
営業時間	平日 8：30～17：15	
サービス提供時間	平日 9：00～12：00 13：30～15：30 平日 9：00～15：00	送迎実施の有無： あり

		支援のねらい	支援内容
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活リズムや生活習慣の安定</li> <li>基本的な生活スキルの獲得</li> <li>心身の成長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康観察</li> <li>疲労や体調管理（適度な休息を促す）</li> <li>取り組みやすい構造化された環境設定</li> <li>基本的な生活習慣（食事、排泄、手洗い、着脱衣等の身辺処理の習慣化）</li> <li>身体活動の取り組みによる生活動作の向上及び健康増進</li> </ul>
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢と運動・動作の向上</li> <li>多様な感覚への働きかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感覚運動（粗大運動・全身運動・微細運動）</li> <li>姿勢補助具の活用（クッション、座布団、足台）</li> <li>音楽療法（リトミック・体操・手遊び・歌）</li> <li>感覚遊び（スライム・水遊び・砂遊び・粘土・スヌーズレンによる感覚刺激）</li> <li>感覚過敏に対する環境調整（音、明るさ、室温、湿度、イアーマフ等の道具の活用、タイムアウトスペースの活用）</li> </ul>
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>周りの世界の意味が分かる</li> <li>周りの物・人に働きかける、働きかけの種類の拡大</li> <li>適切な行動の習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や出来事の流れが分かる環境の調整（構造化、視覚支援等の多感覚的な手がかり、活動等）</li> <li>興味をもって探索できる環境の調整（空間、玩具、遊具、教具等）</li> <li>物・人・環境への働きかけのモデルを示す</li> <li>適切な行動に繋がるような環境の調整</li> </ul>
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>周りの人に向けて働きかける</li> <li>言語発達の促進（分かることば・言えることば）</li> <li>聞く態度の形成</li> <li>相手を意識したコミュニケーション能力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人が発することばや表情、声、視線、身体の動き等から意思を汲み取り、受け止め、代弁する</li> <li>感情や物、出来事等と身ぶりや表情、ことば等を結び付けたことばをかける</li> <li>お集まり等を通して、話す人へ注意を向けられる環境の調整</li> <li>伝えたいことを相手へ伝える際、相手への意識を促す（顔や視線を向ける、相手の手を引く、名前を呼んでから話す、相手の状況を見る等）</li> <li>状況や場に応じた話し方のモデルを示す</li> </ul>
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援者との信頼関係の構築</li> <li>仲間づくりと小集団への参加</li> <li>小集団における行動の調整</li> <li>自己理解と行動の調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>肯定的に受け止めてもらえる環境を用意する</li> <li>支援者を介した仲間への関わりの意識付け</li> <li>待つことや順番、譲るなどの気持ちをコントロールする環境の調整</li> <li>集団のルール・役割の遂行</li> <li>思いが通らなず等で気持ちが昂った際の気持ちの発散や切り替える為の環境の調整</li> </ul>
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の連絡帳や送迎時の会話を通じて随時情報を共有し、子どもの発達課題を共有し、家族と連携して支援を行う。</li> <li>面談や親子通園の機会を設け、家庭での困りごとに対する相談援助や、支援場面を通じた学びの機会を提供し助言を行う。</li> <li>定期的に保護者交流会を開催し、保護者同士で子育ての悩みを共有したり経験を聞いたりする場を提供する。</li> <li>家族のレスパイトについて、必要に応じ情報提供を行い関係機関と連携する等して支援体制を構築する。</li> <li>臨床心理士によるスーパーバイザー相談会を実施する。</li> </ul>		
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>併行利用している保育施設と、子どもの状態や支援内容を共有する。保育所等訪問支援も活用しながら、情報共有し支援を行う。</li> <li>進路や移行先の選択についての相談援助を行う。</li> <li>ライフステージの切り替えに向けて、スムーズな移行につながるよう支援を行う。</li> <li>地域の公共施設を積極的に利用し、身近な地域での暮らしや人々との交流が豊かになるよう支援する。</li> </ul>		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが通う保育施設と必要に応じて情報共有や訪問を行い連携を図り、支援方法・環境調整等に関する相談援助を行う。</li> <li>子どもを担当する保健師や相談支援事業所、子どもが通う保育施設や福祉サービス事業所、医療機関等と、必要に応じて情報共有や会議等を行い連携を図る。</li> <li>地域の公共施設を利用し、地域資源を活用する。</li> <li>発達に不安のある子どもと保護者を対象に、不安や悩みの解消、療育支援に取り組む機会とするためプレ親子通園を実施する。</li> <li>地域の保育施設や障害児通所支援事業所の職員を対象にした療育指導研修会を実施する。</li> <li>保護者や支援従事者を対象に、専門家を講師とした療育講習会を実施する。</li> <li>障がい者自立支援協議会児童発達支援事業所連絡会へ参加する。</li> </ul>		
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>日ごとの会議や支援員会議、職員会議で情報共有や支援方法等の確認を行う。</li> <li>職場内研修の実施（虐待防止、身体拘束等適正化、感染症対策、災害時対応、業務継続計画、消防訓練等）</li> <li>講師を招いての研修会を実施する。</li> <li>自治体や関係団体が実施する外部研修へ参加する。</li> </ul>		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子遠足（春、秋） ・園外保育（公的遊び場の利用） ・近隣の散歩</li> <li>製作や絵本、遊びを通して季節を感じる（こどもの日、七夕、水遊び、夏まつり、ハロウィン、クリスマス、節分、ひなまつり等）</li> <li>感覚運動 ・音楽活動 ・避難訓練（地震、火災、台風、不審者を想定） ・安全指導 ・保護者交流会</li> </ul>		